NITEによる
イノベーション支援事例



独立行政法人製品評価技術基盤機構

2026年9月版

CONTENTS



NITEの業務分野 3
新素材「人工構造タンパク質繊維」の国際標準化を推進 4
ファインバブルの国際標準化や国内認証の制度づくりを支援 5
業務用食品凍結装置の新たな認証制度の構築を支援 6
未来医療を支え、命の可能性を結ぶ、凍結細胞の品質保証制度づくりを支援 7
次世代太陽電池の社会実装に向けた標準化戦略の策定を支援 8
環境に配慮した染色技術の社会実装を支援 9
エアーパーテーション吸引性能の試験機関、試験方法等を助言 10
有望な製品や技術の社会実装を実現する、人材の育成を支援 11
保存困難な微生物の凍結保存法を技術指導 12
「ものさし」となる「NBRCヒト常在微生物カクテル」を開発・提供 13
大型蓄電池試験評価施設「NLAB」で蓄電池の燃焼試験を実施 14
大型蓄電池試験評価施設「NLAB」を活用した試験手法・装置の開発を支援 15
製品リスクアセスメントに「SAFE-Pro」を活用 16
経済産業省が新たに設けた表彰部門の運用を支援 17
各社の課題に即した安全性評価システムの技術指導 18
事業者の適正な化学物質管理のための人材教育を支援 19
地域のイノベーション創出を支援する機関と連携 20

NITEの業務分野

製品安全分野

製品事故の再発・未然防止やリスクの低い製品開発に向けて、必要な情報を発信。

適合性評価推進分野

公的な認定機関として適合性評価機関の国際規格への適合性を認定、また、適合性評価制度の構築を支援。

化学物質管理分野

化学物質のリスク低減に貢献するとともに、国際社会の変化に柔軟に対応した化学物質管理制度の構築を支援。

電気安全評価分野

大型蓄電池システムや全固体電池等の次世代蓄電池における評価技術の開発、国際標準の提案、認証基盤の整備等や電気保安行政支援。

バイオテクノロジー分野

生物資源等の産業利用における安全確保とイノベーション促進により、バイオ産業の持続的な発展を支援。

マネジメント分野

NITE全体（支所含む）の問い合わせ窓口及びチームNITE事務局。

新素材「人工構造タンパク質繊維」の国際標準化を推進

ISOで定義された「人工構造タンパク質繊維」として新たな市場を牽引

Spiber株式会社 様

課題の調査・特定　評価項目・方法の検討　運用体制・環境づくり

きっかけ

同社は、微生物が産生する「人工構造タンパク質繊維」の量産化に、日本で初めて成功。しかし当時、国際規格のタンパク質繊維の定義には、人工的なタンパク質由来の繊維は含まれておらず、消費者の誤認や混乱を招くおそれがあった。

支援の内容

一般社団法人構造タンパク質素材産業推進協会と同社は、経済産業省の「戦略的国際標準化加速事業（平成31年から令和3年）」において国際標準化とそれに伴う試験方法を開発することになり、NITEに協力を依頼。繊維試験方法の開発・標準化の実績があるNITEは、技術や知見を活かして試験方法の開発を支援した。

成果

それまで一般的な繊維としての名称はなかったが、ISO規格*が改正され、合成繊維の「protein」と定義された。ISO繊維混用率試験方法の開発・提案も進行中である。同社では今回の繊維を製品として展開し、新たな市場を牽引している。



人工構造タンパク質繊維を使ったアウトドアジャケット



構造タンパク質素材「Brewed Protein™」ポリマー（粉末）

写真提供：すべてSpiber株式会社

お客様の声

NITEとの連携により、国際標準化及びそれに伴う試験方法開発を短期間で実現し、日本の新たな産業発展や山形県の地方創生を進めることができています。国際市場にも投入し、広めていきたいです。



*ISO 2076：2021 Textiles-Man-made fibers-Generic names（繊維－合成繊維－一般名称）

ファインバブルの国際標準化や国内認証の制度づくりを支援

ファインバブル産業の健全な市場を創出

一般社団法人ファインバブル産業会（FBIA）様

課題の調査・特定　評価項目・方法の検討　運用体制・環境づくり



きっかけ

日本では早期からファインバブル技術の研究等が行われてきたが、正確な評価が難しいなどの理由で産業化が進まない一方、性質に根拠のない商品も流通し始めていた。

支援の内容

健全な市場を形成すべく、同会が発足。2013年には、ISOにファインバブル技術のTC（技術委員会）が日本提案で設立された。NITEは、評価設備を整備し、前処理方法や測定方法を開発。同会、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大学や産業界と協力し、国際標準化や国内認証基盤の整備などを支援した。

成果

国内では、2015年より同会による認証登録制度を開始。ファインバブル産業の信頼性が向上し、健全な市場が形成されている。現在までに発行された35の規格のうち7割が日本の提案によるもので、世界をリードし続けている（2025/8/1時点）。また、本件で開発した測定方法等の特許を取得した。

お客様の声

NITEの支援を受けて認証制度を開始したことにより産業の信頼性向上に大きく寄与しました。また、2021年には、他業界に先駆けてSDGsを冠した世界初の規格を発行して、ファインバブルによるSDGsへの貢献をアピールすることができました。



業務用食品凍結装置の新たな認証制度の構築を支援

科学的根拠に基づく公正な性能評価の実現に向け、認証制度の運用体制づくりに貢献

一般社団法人食品冷凍技術推進機構（FF Tech）様

評価項目･方法の検討　運用体制･環境づくり

きっかけ

業務用食品凍結装置には、これまで標準化された評価方法がなく、製品の性能比較ができないため、利用者が製品の性能を正確に比較することが困難であった。そこで同法人は科学的根拠に基づく業界統一基準で評価し、性能を「見える化」する認証制度の構築を検討していたが、初めての制度構築ということでNITEへ相談された。

支援の内容

相談を受けたNITEは、当該認証制度が試験結果の信頼性を担保・認証する制度であることを明確化し、スキーム全体の位置づけの再整理を助言。さらに認証スキーム文書（審査の対象範囲、審査主体（事務局・第三者委員会）の役割分担、責任区分及び審査プロセス）の確認・修正箇所の共有により、制度設計に関する先方の不安・疑問点を解消した。

成果

2026年3月より「凍結装置性能認証制度」の運用を開始。NITEの助言を反映し、「凍結装置性能認証マーク」、「凍結パワー認定マーク」による性能の「見える化」も実現した。利用者の最適な装置選びをサポートすると共に、メーカーが自社製品の性能を正しくアピールできる環境が整い、課題が解決された。

認証された凍結装置には、２種類のマークを
カタログや製品情報に付加することが可能

▶凍結装置性能認証マーク
製品の性能を正しく測定・開示している証となるマーク



▶凍結パワー認定マーク（星評価）
ひと目で装置の性能を比較・理解できる指標となるマーク



出典：FF Tech 凍結装置性能認証制度ホームページ

お客様の声

認証制度の構築は初めてで、相談先も見つからない状況でした。NITE様には制度設計の考え方から規程の細部までご助言いただき、自分たちでは気づけない論点を整理できたことで、自信を持って制度を開始できました。



未来医療を支え、命の可能性を結ぶ、凍結細胞の品質保証制度づくりを支援*

生殖医療・再生医療で扱われる凍結卵子などを超低温で安全に輸送・保管する体制の標準化に貢献

五條メディカル株式会社 様

課題の調査・特定

きっかけ

同社は、ワクチンや遺伝子関連をはじめ、医療・医薬関連製品の超低温輸送と倉庫管理をビジネスモデルとするスタートアップ企業。中小機構のFASTAR事業**を通じて凍結卵子の安全な輸送・保管について標準化を検討したいとの相談があった。

支援の内容

NITEは中小機構と協力し、まずは標準化したい「対象」や、企業として標準化したことを誰に、どう信頼されたいかという「ニーズ」を聞き取り、明確化していった。次に、類似の既存規格（例えば、ISO 31512:2024やISO 21973:2020）を調べ、既存規格の要求事項との違い（支援先の強み）を明確にしていった。その後、日本規格協会（JSA）にも助言をもらい、規格開発や仲間づくりの方向性を提案した。

成果

同社では、中小機構とJSAの協力の下、NITEからの提案を参考に、認証機関や関連業界団体へのアプローチを始め、まずは「フォーラム標準」を検討していくところである。

Be a Great Small. 中小企業の価値を、日本の原動力に。
中小機構 × nite × JSA GROUP 日本規格協会グループ SINCE 1945



検体等を液体窒素を用いて輸送するためのドライシッパー

写真提供：五條メディカル株式会社

お客様の声

NITE様のご支援により、標準化に向けた課題を明確化し、関連機関との接続機会をいただくと共に規格立案に必要な考え方を学びました。今後、生命資源を安心して託せる品質基盤の構築と標準化を目指します。



* 出典：FASTARデモデイパンフレット
** 出典：FASTAR事業ホームページ

次世代太陽電池の社会実装に向けた標準化戦略の策定を支援

標準化の動向調査やコンタクトパーソンの特定により、標準化の議論への早期参画が可能に

株式会社双日イノベーション・テクノロジー研究所 様　他

課題の調査・特定

きっかけ

経済産業省による標準化と知的財産を一体的に活用する戦略（オープン＆クローズ戦略）の策定・活用を促進するための計画認定制度であるOCEAN*プロジェクトに認定されている同社らの次世代太陽電池における戦略策定事業に対し、NITEはオープン部分の標準化支援等を行った。

支援内容

次世代太陽電池に係る主要規格やJIS試験、主要国のPVモジュール認証動向や標準化の動向を把握。用途別に適用される規格や法令の調査、さらに技術課題についての国内外の実証事例を提示したほか、設置時の法規制や主要な関連団体の制度課題なども整理し、報告書を提出した。

成果

調査の結果、フレキシブル太陽電池で、ペロブスカイト太陽電池を中心に標準化が急速に進展しており、同社製品も早期に参画すべき段階であることを確認。コンタクトパーソンを特定し、標準化の議論への早期参画が可能となった。

* Open & Close strategy with Exploiting Academic kNowledge



次世代太陽電池　撮影：NITE



お客様の声

NITEのご支援により、事業化検討に際して抱えていた不明点や課題を整理し、明確にすることができました。特に、フレキシブル太陽電池分野において標準化が急速に進展している状況をご提示いただいたことで、今後の標準化活動への参画や事業戦略を検討する上で、大変参考になっています。

環境に配慮した染色技術の社会実装を支援

標準化の枠組み構築に向けて前進

福井大学、企業、業界団体や官公庁を含む産学官連携

きっかけ

経済産業省が2022年にまとめた「繊維技術ロードマップ」の重要施策の1つに「超臨界染色加工技術」がある。超臨界二酸化炭素を用いることで、水や薬剤を使わず、廃液も出さない染色方法で、従来の染色方法における課題を解決するものと期待され、実用化に向けて開発が進んでいる。NITEは、この有望な技術に注目し、支援を提案した。

支援の内容

NITEは、2023年9月、NITE内に同技術の社会実装を支援するタスクフォースを設置。標準化の枠組み構築に関する支援を継続している。

成果

工業生産及び大型装置による社会実装に向け、研究開発及び標準化の取り組みは着実に進んでいる。



お客様の声

「超臨界染色加工技術」はまだまだ社会実装のための実験が必要ですが、その後の普及のためには標準化が必須と考えています。NITEにその点をサポートいただけることは有り難く、期待しています。



エアーパーテーション吸引性能の試験機関、試験方法等を助言

性能試験を実施し、量産を開始。導入が拡大

株式会社金山精機製作所 様

課題の調査・特定　評価項目・方法の検討

きっかけ

同社が開発した照明機器「SFREEN」は、紫外線殺菌で飛沫感染を防止するエアーパーテーション機能を持つ。その除菌率は98%以上。一方で、吸引性能に関する評価・検証の方法を模索していた。

支援の内容

相談を受けたNITEは、参考になると思われる規格（クリーンベンチや送風機など）の紹介、試験方法や試験機関の提案、試験において考慮すべき点など、様々な角度から助言を行った。

成果

同社は、NITEの助言を参考に吸引性能の検証試験を実施し、量産開始に至った。現在、食堂、受付カウンター、保育園など、導入が広がっている。



提供：株式会社金山精機製作所

お客様の声

助言をいただき、大変参考になったと共に、検証手段や手法等、大変勉強になりました。皆様のお役に立てる「SFREEN」であることを目指しております。



有望な製品や技術の社会実装を実現する、人材の育成を支援

適合性評価の基礎知識、適合性評価スキーム構築スキルの習得に貢献

企業・業界団体、認証機関・試験機関、独立行政法人・認定機関 様

人材の育成

きっかけ

基準（規格）及び適合性評価を活用することは、有望な製品や技術の社会実装への一手段となる。しかしながら、その活用を通じて製品等の社会実装を支援できる人材の育成が課題となっており、今後のさらなる拡充が期待されていた。NITEは適合性評価の活用の観点から、これまで蓄積した知見や経験、関係機関とのネットワークを活用して、有望技術等の社会実装、市場拡大支援を担う人材の育成を行うこととした。

支援の内容

令和5年度より「『社会実装・規格活用』実現化人材育成プログラム」として研修を実施している。適合性評価の基礎知識やスキーム構築に必要な知識の習得を目指す人材向けの研修プログラムとなっており、座学に加えスキーム構築に関するグループ演習を通じて、スキーム構築の実践スキルも習得することができる。

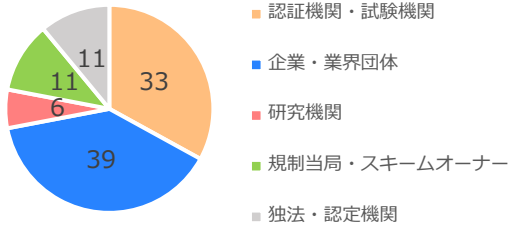
成果

本プログラムには様々な分野からの受講生を受け入れた。企業等の受講者からは「とても満足*」という声が多数あり、全員から「プログラムで得た知識は実務に役立つ*」との回答を得た。グループ演習も好評で、適合性評価に関わる他機関とつながりを持つ良い機会にもなったようだ。

* 令和7年度受講者アンケートより

外部受講者情報

受講者所属先比率(%)　（令和7年度）





講座風景　撮影：NITE

お客様の声（受講者の声）

- 研修内容には満足しており、研修時間も適当だったと思います。未受講の方にもぜひお勧めしたいと思います。
- 今回の研修は非常に充実しており、特に適合性評価スキームの構造や役割についての理解が深まりました。実例紹介では、スキームを社会に根づかせていくためのアプローチが大変参考になりました。



保存困難な微生物の凍結保存法を技術指導

微生物の保存法の作業手順を標準化

多木化学株式会社 様

評価項目･方法の検討　その他

きっかけ

作業手順の標準化に取り組んでいた同社では、従来の凍結保存法では保存が難しい担子菌培養株について、有効な保存方法を模索していた。

支援の内容

特許庁委託事業「特許微生物寄託等業務」の一環でNITEが開発したバーミキュライトを用いた凍結保存法「バーミキュライト法」は、従来の方法では凍結保存が難しい担子菌にも有効なため、同方法について実技を伴う技術指導を行った。

成果

担子菌培養株の新たな凍結保存法の技術指導により、同社の課題は解決し、作業手順の標準化が進展。再現性や信頼性、作業効率が向上した。



菌株の培養プレートから寒天片を切り出す様子



バーミキュライト培地に寒天片を接種する様子



凍結保存の設備

お客様の声

担子菌培養株の凍結保存に関する貴重な情報を入手でき、大変有意義な機会となりました。当社の作業手順の標準化、改良検討に活かしていきたいと思います。



「ものさし」となる「NBRCヒト常在微生物カクテル」*を開発・提供

マイクロバイオームの産業利用における信頼性を確保

一般社団法人日本マイクロバイオームコンソーシアム（JMBC）様

その他

きっかけ

近年、ヒトの体に存在する微生物群集（マイクロバイオーム）を活用した産業への期待が高まっているが、マイクロバイオーム計測の精度管理や結果の比較互換性の担保が課題となっていた。

支援の内容

NITEが先立って開発していた、計測の“ものさし”となる「NBRC微生物カクテル」の作製技術を活かし、NBRCが保有するヒト由来微生物を用いた「NBRCヒト常在微生物カクテル」を開発、提供することで、ヒトマイクロバイオームの計測基盤整備を支援した。

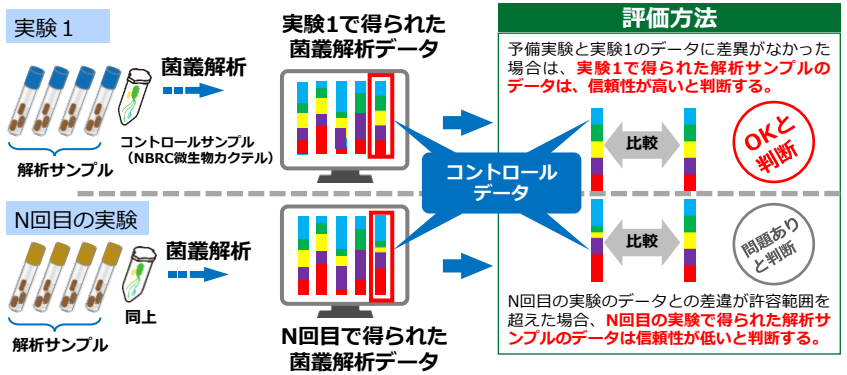
成果

整備した推奨プロトコルは同法人から公開されており、「NBRCヒト常在微生物カクテル」を併用することでマイクロバイオーム計測の精度管理が可能となり、我が国のマイクロバイオーム研究の信頼性向上や国内産業の競争力強化に繋がっている。

*本カクテルは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「NEDO先導研究プログラム／新産業創出新技術先導研究プログラム／ヒトマイクロバイオームの産業利用に向けた、解析技術及び革新的制御技術の開発」（2018年度～2020年度）による支援を受け、国立研究開発法人産業技術総合研究所、一般社団法人日本マイクロバイオームコンソーシアム、及び国立研究開発法人理化学研究所と共同で開発された。

出典：NITEウェブサイト　NBRCヒト常在微生物カクテル

「NBRCヒト常在微生物カクテル」の利用例：試薬・キットの開発における疑似サンプル



お客様の声

ヒトマイクロバイオーム計測は、データの再現性に課題があり、高く信頼できる標準手法の開発が必須です。標準手法の開発に必須の微生物カクテル（モック）の開発をご担当いただき、NITEの高い専門性や技術力と粘り強い努力により、高品質のモックが完成しました。標準手法の開発や各機関での計測品質の担保に役立っています。

大型蓄電池試験評価施設「NLAB」で蓄電池の燃焼試験を実施

安全性の高さを試験により確認し、市場から評価

株式会社村田製作所 様

その他

きっかけ

同社では、蓄電池システムが火炎にさらされた場合の安全性を確認する必要があった。しかし安全上の理由から、同社内で大容量蓄電池の燃焼試験を行うことは不可能だった。

支援の内容

同社は、NITEの大型蓄電池試験評価施設「NLAB」*にて燃焼試験を実施。システム内部の蓄電池モジュールに発火・破裂等の異常はなく、安全性が保たれていることが確認された。

成果

同社の蓄電池システムは、長寿命と試験結果に基づく高い安全性が市場で評価され、鉄道会社など多くの事業化に結び付いている。







お客様の声

「NLAB」の充実した設備や蓄電池の評価方法を熟知されている職員の方々のご協力で滞りなく試験を実施することができました。この試験結果を通して、お客様には安全性の高い蓄電池であることを評価していただいております。



* NLAB（エヌラブ）：世界最大規模の大型蓄電池システム試験施設。燃焼、水没、振動など、様々な試験設備を備えている

大型蓄電池試験評価施設「NLAB」を活用した試験手法・装置の開発を支援

技術の進展に対応したデバイスの開発と量産化に貢献

株式会社ダイセル 様　他（デバイス開発事業者）
西川計測株式会社 様（試験装置開発事業者）

その他

きっかけ

リチウムイオン電池用途の高電圧化、高出力化が進んでおり、技術進化に追従すべく、新たな電流保護デバイスの開発が必要な状況になっていた。デバイス開発を進める上で、高電圧・高電流に対応した試験設備が必要になるが、既存の試験設備では対応できていなかった。

支援の内容

各社と協力して「NLAB」*独自の試験手法（直流遮断試験）とそれが実現できる試験装置を独自に開発・導入し、デバイス開発段階の試験を各社と共同で「NLAB」にて実施した。
また、量産フェイズに移行する際に、新たに試験装置の導入が必要な各社に対しては、試験装置の導入及び技術支援を実施した。

成果

リチウムイオン電池用途の高電圧化、高出力化に対応した新たな電流保護デバイスの要素技術の構築及び商品化が実現できた。

「NLAB」直流遮断試験装置開発の流れ

「NLAB」オリジナルの試験手法を開発
↓
試験化可能な試験システム設計
↓
装置を導入して支援環境を整備
↓
試験実施
↓
手法、装置の横展開
（技術ノウハウのアドバイス等）



機能別実験棟
撮影：NITE



直流遮断試験装置
撮影：NITE

お客様の声

- 開発段階の技術課題をクリアし量産化することができました。更なる試験装置の高電圧化等の高機能化を期待します。
- 直流遮断試験を熟知された職員の方々の手厚い技術試験により、デバイス開発事業者様への新規試験装置の導入と円滑な立ち上げが実現できました。



* NLAB（エヌラブ）：世界最大規模の大型蓄電池システム試験施設。燃焼、水没、振動など、様々な試験設備を備えている

製品リスクアセスメントに「SAFE-Pro」を活用

安全設計を推進し、製品事故の未然防止へ

パナソニックホールディングス株式会社 プロダクト解析センター 様
SOMPOリスクマネジメント株式会社 様

その他

きっかけ

NITEは、「SAFE-Pro」*の利活用促進に取り組んでいる。その取り組みの中で、製品リスクアセスメント支援サービスを展開している複数の民間企業から、「SAFE-Pro」を導入したいとの希望が寄せられ、事業連携を開始した。

支援の内容

NITEと各社は、適した活用方法の検討や共同検証を実施。その結果、危険性・有害性に関する詳細データの抽出が可能となり、事故発生シナリオの網羅性も高まるなど、効果が期待できることが示された。

成果

検討・検証の結果を受け、各社は「SAFE-Pro」の活用を促進。効率的・効果的なリスクアセスメントにより、製品事故の未然防止に貢献している。

お客様の声

「SAFE-Pro」を活用することで、製品リスクアセスメントの効率や効果が高まっていると感じます。今後もNITEと連携しながら、さらなる安全性向上に取り組んでいきたいと考えています。
（パナソニックホールディングス株式会社 プロダクト解析センター 様）

「SAFE-Pro」は、リアルなデータを用いて対象製品の危害事象を把握でき、操作も簡単です。抽出した事故シナリオを基にリスク分析に反映させることで、製品事故の未然防止や安全性の高い製品設計につながると考えています。
（SOMPOリスクマネジメント株式会社 様）



＊ SAFE-Pro：NITEが保有する製品事故情報を事故発生シナリオとして参照できる、製品リスクアセスメント支援ツール。製造事業者のほか、試験・認証機関、保険会社などの事業者を支援する法人等、約500事業者（2025年6月末日時点）に利用されている。

経済産業省が新たに設けた表彰部門の運用を支援

消費者が安全な製品を選択するためのマーク表示制度を推進

製品安全対策優良企業表彰制度受賞企業 様

評価項目･方法の検討　運用体制･環境づくり

きっかけ

死亡や重傷を伴う重大な製品事故のうち誤使用・不注意を原因とする事故が全体の３割に達し、高齢者による重大な製品事故も６割を超えている状況であった。

支援の内容

経済産業省は製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）において「製品部門（プラスあんしん制度）」を新たに設置し、事業者から申請された誤使用・不注意の防止対策が採られた製品のリスクアセスメント結果について、NITEはリスクアセスメント結果妥当性評価委員会の実施主体となって厳正に審査・評価し、その結果を審査・運営委員会（親委員会）へ報告することで本制度の運用を技術的な側面から支援した。

成果

プラスあんしんロゴマークが貼付された製品の市場流通が開始され、事業者と消費者間のリスクコミュニケーションを促進し、消費者が自ら安全な製品を選択しやすい環境が整備され始めている。

参考資料：「誤使用・不注意による事故リスクを低減した製品に対する表彰・表示制度の御紹介（＋あんしん）」　「NITE製品安全センターの取組」

ロゴマーク使用例



出典：経済産業省ウェブサイト
令和7年度「PSアワード」受賞企業及び「＋あんしん」受賞製品を決定しました（METI/経済産業省）

お客様の声（受賞企業様の声）

競合他社に対して、安全・安心に対する優位性を示すことができるようになった。第三者からの評価を得ることで、より信頼性が担保され、お客様へのアピールがしやすくなった。高齢者、若年層における誤使用リスクを減らすための取組は、弊社の企業理念とも合致している。

出典：誤使用・不注意による事故リスクを低減した製品に対する表彰・表示制度（＋あんしん）から一部抜粋、その他受賞企業様の声もぜひ参照ください。

各社の課題に即した安全性評価システムの技術指導

化学物質の安全性評価の効率化、高度化を支援

株式会社資生堂 様　他

その他

支援の内容

NITEが公開している有害性評価支援システム統合プラットフォーム（「HESS」）*や、経済協力開発機構（OECD）が公開している「QSAR Toolbox」**は、未評価物質の毒性予測、動物実験の代替などに有用なシステムである。NITEでは、操作方法や評価手法を学べる動画やマニュアル、チュートリアルを公開。各社それぞれの課題や相談にも対応し、個別の操作説明や講習会、毒性予測に関する共同検証など、企業による安全性評価の効率化と高度化を様々な角度から支援した。



成果

企業ごとに個別の講習会等を開催したことで、システムの利用シーンの認知やスムーズな操作の理解につなげることができた。

お客様の声

基本的な使い方から詳細なところまで丁寧に教えていただいたため理解が深まりました。日本語と英語で対応いただいたため海外部署での理解も深まり、活用の幅も広がったと感じております。より安全で安心な製品をお客さまへお届けするというミッションのために有用なツールだと改めて感じたため、今後も積極的に活用させていただきます。

* 有害性評価支援システム統合プラットフォーム（HESS）：化学物質の反復投与毒性の評価を支援するシステム
** QSAR Toolbox：化学物質の様々な毒性や環境動態の評価を支援するシステム

事業者の適正な化学物質管理のための人材教育を支援

品質事故や法令違反の未然防止、企業内の安全文化の醸成にも貢献

化学物質管理人材の育成に取り組む企業 様

人材の育成

きっかけ

NITEの化学物質管理のための人材育成プログラムは、過去の受講者アンケート等の結果を踏まえ、より事業者に有益となるよう、継続的に内容を更新している。

支援の内容

年次講座では、初学者をターゲットに、化学物質管理実務にすぐに使える内容のプログラムを充実させ、「専門性」「実務性」のレベルを明記することで、目的・習熟度に応じた受講を可能に。経済産業省、厚生労働省、総務省消防庁とも連携し、化学物質法規制情勢の時宜にかなう内容を設定した。そのほか、NITE-CHRIP、NITE-GmiccsなどのNITEが提供するシステム活用を支援する説明会も随時開催している。

成果

年次講座受講者アンケートでは、「初学者に受講させている」との声があり、97%以上の受講者が本プログラムの内容が事業者内で「活用できる」と回答。法令対応をはじめ、知識の習得や復習の場としての活用を通じて、化学物質管理の人材の裾野拡大、化学物質管理の適正な理解促進に貢献している。

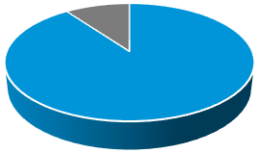
アンケート結果

■ 令和7年11月～令和8年1月にわたり15講座を開講し、3022名が申込した際のアンケート結果

【活用の可能性について】

平均**97%**で前向き*

*「どちらでもない」を除く



■ できる（できそう）　■ できない

お客様の声（受講者の声）

- 新しい知識の習得、復習の場として活用していますので、今後も継続をお願いしたいです。
- 社内向け研修の資料作成に学んだ情報を活用し、社内の化学物質管理の理解向上につなげています。
- 困難な化学物質管理の専門家育成に貢献しています。
- 法令のアップデートを細かくフォローしてもらえるので大変参考にしています。無料でここまでの講座を開催してくれるのは唯一無二ですね。



地域のイノベーション創出を支援する機関と連携

NITEの技術や情報で、事業者等の課題解決を支援

関西・共創の森（現 関西・共創の環）（経済産業省　近畿経済産業局）

きっかけ

近畿経済産業局は、関西にある国の支援機関に呼びかけて「関西・共創の森（現 関西・共創の環）」を創設。各支援機関が強みを持ち寄り、社会課題解決に向けたイノベーション創出を支援する組織である。NITEは発足時から同組織に参画。

支援の内容

同組織により、技術シーズ・ニーズの発掘から研究開発、実用化・事業化まで、切れ目なく支援することが可能になった。同組織では社会課題の解決に取り組む各社の事例紹介や、個別相談などを行うイベント「DAYS」をたびたび開催。NITEは同組織のイベント参加を通じて、保有する情報、技術等に基づくソリューションを提供し、事業者による新たな製品・サービスの創出を支援している。

成果

令和2年の発足から、現在では９機関が参画するイノベーション支援組織として活発な活動が行われ、近畿地域でのスタートアップ等へのイノベーション支援が促進されている。NITEも積極的な関与を継続し、同組織の活動を加速化している。

その他





お客様の声

「関西・共創の森」は「社会課題解決」を共通テーマとして産学官連携プロジェクトの支援を目指しています。多くの専門人材を有し、産学との連携実績も豊富なNITEの参画は、イノベーション創出の大きな力となっています。

